

類別 器09 医療用エックス線装置及び医療用エックス線装置用エックス線管
一般的名称 歯科用自動現像装置 JMDNコード 70035000
一般医療機器 (特定保守管理医療機器該当・設置管理医療機器非該当)

販売名 レベル360 SL/ACA

【警告】

- ・機械本体側面及び、ローラーユニット温風レール部は鉄風が出ているので、低温火傷等起こしやすいので、手を触れたりしないこと。
- ・アースは正しく接続すること。
- ・主時空1ー無及び、ローラーラックの取り扱い【保守点検】の際、ギア部で指を詰めると怪我をするおそれがありますので、十分注意すること。

【併用医療用具における警告】

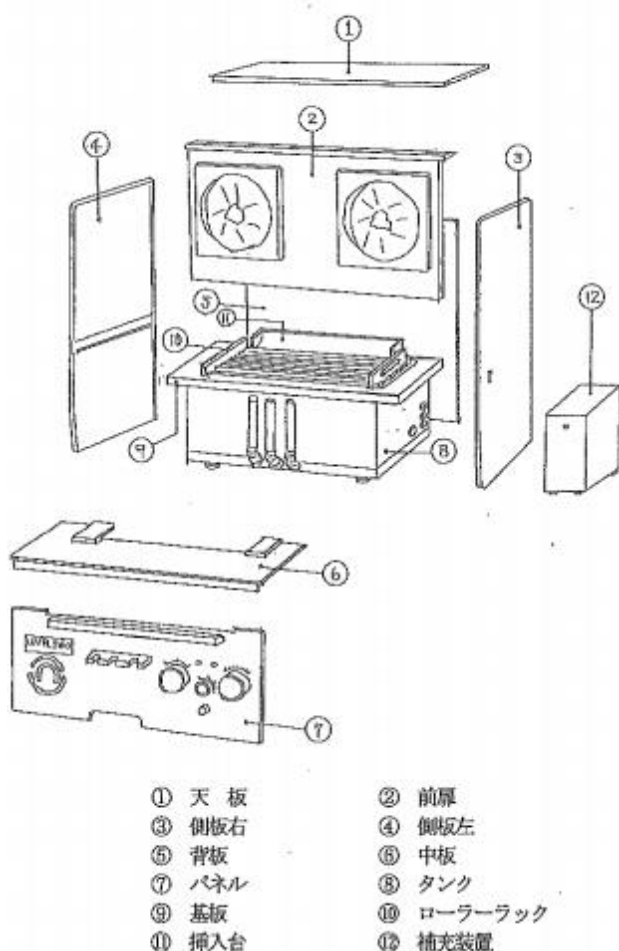
- ・処理液が手や衣類についた場合は、速やかに流水で洗うこと。手についたままでは、皮膚に炎症を起こす恐れがある。また化粧衣類の場合は破損するので、すみやかに流水で洗うこと。

【禁忌・禁止】

- ・製品の改造・解体は行わないこと。

【本体の形状・構造及び原理等】

1. 構造 本体

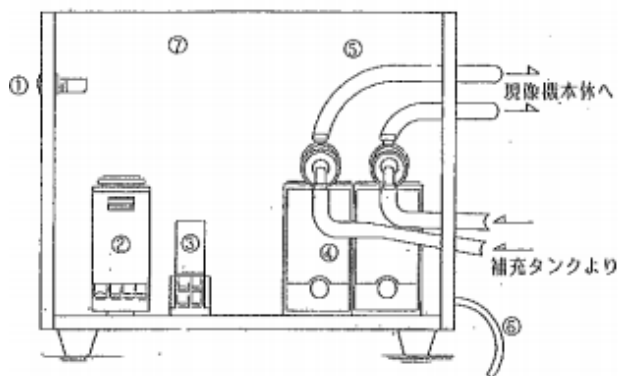


- | | |
|-------|-----------|
| ① 天板 | ② 前扉 |
| ③ 側板右 | ④ 側板左 |
| ⑤ 背板 | ⑥ 中板 |
| ⑦ パネル | ⑧ タンク |
| ⑨ 基板 | ⑩ ローラーラック |
| ⑪ 挿入台 | ⑫ 補充装置 |

【原材料】

①～⑦はノリル樹脂
その他詳細は、当社までお問い合わせください。

自動補充装置の構造



- ①ポンプ作動表示ランプ ポンプが作動していることを知らせる。
- ②タイマー ON/OFFのツインタイマーにより、作動時間を設定します。
- ③リレー タイマーとの組み合わせによりポンプを動作させたり停止させたりします。
- ④ポンプ 現像用・定着用の補充液を現像機本体のタンクに送り込みます。
- ⑤ホース 現像・定着それぞれの補充タンクより現像機側へ補充液を送り込むためのパイプラインです。
- ⑥電源コード 現像機本体の電源部（操作ダイヤル）と接続します。
- ⑦本体カバー カバーになります。

ポンプ性能

最大吐出量

50Hz 17-34ml/min
60Hz 20-40ml/min

最高吐出圧力 0.1kgf/cm

自給高さ (DRY) 30cm

2 寸法及び質量

外装寸法

本体 W500XD330XH500
補充装置 W300XD140XH180

質量

本体 約24kg (処理液を含め32kg)
補充装置 約3kg

3 電気的定格

本体

電圧 AC85-132V/170-264V
周波数 50/60Hz
消費電力 0.8KVA

補充装置

電圧 AC100V
周波数 50/60Hz
消費電力 0.04KVA

【使用目的又は効果】

歯科用X線フィルムを自動現像する。

【使用方法等】

1. 使用環境条件

温度：10～30℃

湿度：20～80%

電源電圧：単相AC 100V±10%
(200V±10%)

揺れの無い安定した水平な位置に設置してください。

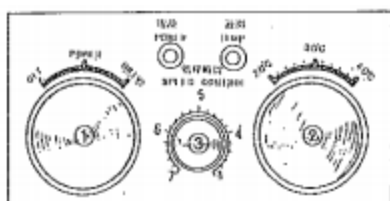
湿気やほこり、粉塵の多い場所は避け、換気の良い場所に設置してください。

直射日光が当たる場所や、機器の性能を毀損する恐れにある照明の付近、熱器具の近くには、設置しないでください。

2. 組立方法・事前準備

組立不要 詳細内容については、取扱説明書を参考に処理液を入れてください。

3. 使用方法 本体

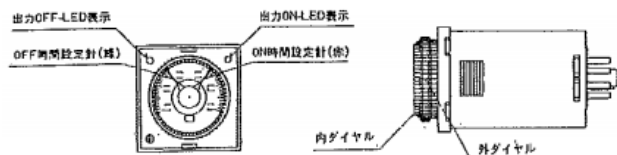


- ① 電源ダイヤル
- ② 温度調節ダイヤル
- ③ 速度調節ダイヤル

- ①電源ダイヤルをPOWERの位置まで回す
- ②液温ダイヤルで温度を設定する
- ③速度調節ダイヤルで処理時間を設定する
- ④液温ランプの消灯を確認して電源ダイヤルをDRIVEにまわす
- ⑤前扉を開け、機器内部に撮影したカセットを入れる
- ⑥前扉を閉じてから、腕カバーに手を入れ、カセットからフィルムを取り出し、挿入口にフィルムを挿入する
- ⑦フィルム出口から現像処理されたフィルムを取り出し、電源ダイヤルをPOWERもしくはOFFにまわす

使用方法 補充装置

ツインタイマーの操作方法

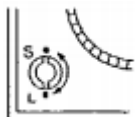


ON時間、OFF時間の設定

内ダイヤルにてON時間を、外ダイヤルにてOFF時間をそれぞれ設定する

時間レンジ単位の切り替え

前面左下の時間レンジ切り替えスイッチをマイナーストライバーで回転させ、切り替えを行う
右回転では、時間レンジが長くなり、左回転では、時間レンジが短くなります



- ①ツインタイマーのON時間、OFF時間の設定を行う
- ②現像機側の電源を入れる
- ③電源が入ると、補充装置は動作を開始します
パイロットランプにより、動作中であることを表示します
パイロットランプ点灯→動作中
パイロットランプ消灯→停止中
- ④現像機側の電源をOFFにするまで補充装置は動作を繰り返します

4. 使用方法に関する注意事項

- ・前扉を閉めるときは、中板の溝に確実にハマるように閉めること。
- ・フィルムを重ねて挿入しないこと。
- ・診療が終了しましたら必ず現像機側の電源をOFFにすること。

【使用上の注意】

- ・アースが確実に接続されていることを確認すること
- ・すべてのコード類が確実に正確に接続されていることを確認すること
- ・当該機器を使用する際には、設置環境（温度・湿度・電源定格）を守る
- ・作業環境を良好に保つため、設置した部屋の換気扇を常時動作させ、絶えず新鮮な空気を入れること
- ・使用する前に必ず、各動作部および処理液の過不足の点検を行い、機器が正常に動作することを確認し、2、3分のアイドリングを行うこと。
- ・処理液やフィルムは、必ず適合したものを使用すること。
- ・ローラーや本体のお手入れにシンナー等の溶剤を含むものは使用しないこと
- ・本体及び機器内部の洗浄は十分に注意をして行うこと。
- ・ホースを排水ホースに差し込むときは、ホースをしっかりとって差し込むこと。
- ・フィルムを処理する際には、液温が設定温度に達していること（液温ランプの消灯）を確認すること

【保管方法および有効期間等】

保管方法

1. 水のかからない場所、画像に影響するような放射線の当たらない場所に保管すること
2. 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ホコリ、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に保管すること。
3. 傾斜、振動、衝撃（輸送時も含む）などの安定状態に注意すること。
4. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
5. 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清浄にしておくこと。

耐用期間

指定された保守点検を実施した場合に限り、6年間です。

（定期交換部品、故意・加湿による破損を除く）

定期交換部品

ローラー・ローラーギア・ヘリカルギア・丸ベルト・腕カバー

【取扱い上の注意】

- ・機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険を起す恐れがあるので十分注意すること。
- ・機器に患者が触れることのないように注意すること。
- ・使用後は定められた手順により、電源を切ること。
- ・装置の近くで、可燃性および爆発性の期待を使用しないこと。
- ・機器周辺に水漏れがある場合には、直ちに機器より処理液を抜き、当社へ連絡すること。
- ・廃棄する場合には、産業廃棄物となる。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。
- ・現像廃液と定着廃液は許可を得た産業廃棄物処分業者に処理を依頼すること。

【保守・点検に係る事項】

使用・保守の管理責任は使用者側にあります。

使用者による日常及び定期点検を必ず行ってください。

使用者による主要な保守点検項目

1. フィルム挿入口に汚れ、異物、液体ないことを確認する（毎日）
2. 各補充ホースの折れ、つぶれがないか確認する（毎日）
3. 各処理液ラックを清掃する（1ヶ月）
4. ローラーを清掃する（1ヶ月）
5. 中板を清掃する（1ヶ月）
6. 本体内部を清掃する（1ヶ月）
7. 各ランプの動作を確認する（毎日）
8. ローラーおよび丸ベルトの劣化を確認する（6ヶ月）

取扱説明書を必ずご参照下さい。

9. 異音、異臭等、異常がないことを確認する〈毎日〉
10. 水の入れ替えを行うこと〈毎日〉
11. 処理液は定期的に交換すること〈任意〉
12. しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前にかならず機器が正常に過つ安全に作動することを確認すること。
13. クリーナーによる定期的なタンクの洗浄〈2ヶ月〉

【包装】

カートン包装 自動現像機本体 付属品一式
補充装置 各1

【主要文献及び文献請求先】

株式会社 フラット
兵庫県神戸市東灘区深江浜町141-4
TEL 078-412-2345
FAX 078-412-2028

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所】

株式会社 フラット
兵庫県神戸市東灘区深江浜町141-4
TEL 078-412-2345
FAX 078-412-2028